

一般社団法人マール村

鷹野橋こども食堂 活動報告書



〒730-0051 中区大手町5-8-1

Mail : tamawani.cafe.shokudou@gmail.com

Instagram : [@kodomoshokudo.takanobashi](https://www.instagram.com/kodomoshokudo.takanobashi)

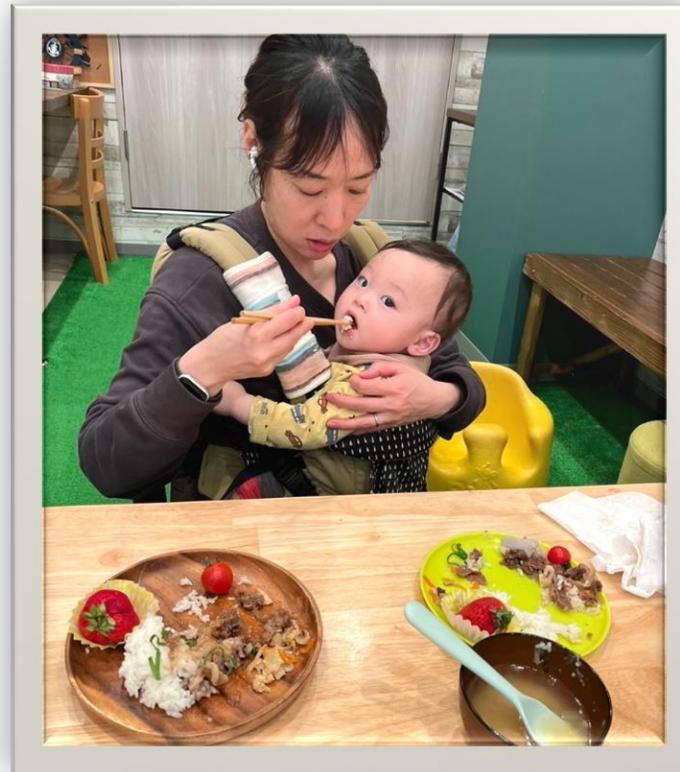
子ども食堂の様子

子どもさんからのお礼の手紙を頂いたり、来店して下さるお客様とのコミュニケーションも取れ、皆さんの笑顔にいつも癒されてます♡

＼お客様からのHAPPYボイス／

家では野菜を残すことも多いですが、ここだと残さず食べてくれるので助かります😊

子どもが行きたい！というので今日も来ました😊



こども食堂利用人数



行楽シーズンにも関わらず、多くの方に足を運んでいただきました。
ありがとうございます。5月はGWもあり忙しく過ごされると思いますが、た
まの息抜きとして、皆さまのご来店をお待ちしております😊

4月1日～30日 (稼働日17日)	おとな	こども
	56	93

協賛者様にも感謝

いつも協賛くださる協力者の皆様も、本当にありがとうございます。
“&...こども食堂”を引き続きよろしくお願い致します。



フレスタ様

さくらサーカスのチケット



白百合様



カープ観戦チケット



北谷組 北谷様

こども食堂で使用する
お皿が増えました



ますやみそ様

OPEN : 月・火・水・金 17:00~19:00 (アスリートカフェ 木 16:30~)

料金 : 大人300円 こども100円

Instagram : @angee_shokudou

公共財団法人JKA

以前、現役の競輪選手 松浦 悠士 さんにお越しいただき取材していただいた内容がUPされました。ぜひご覧いただけたらと思います。

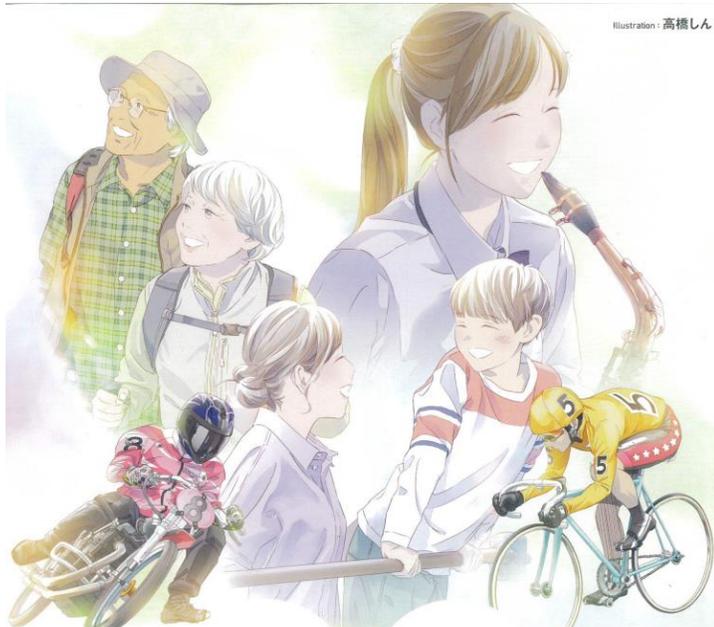


Illustration: 高橋しん

両輪で 明日へ。

CYCLE
JKA Social Action

競輪とオートレースの補助事業



公益財団法人 JKA
Japan Keirin Autorse Race Foundation



子どもたちに 栄養たっぷりの 食事を

街とともに歩むこども食堂に
競輪選手が訪問



マル村
太田郁恵 代表理事

競輪
松浦悠士 選手

「食」を通じて、地域とつながる

体づくりに欠かせない、毎日の食事。そんな「食」を通じて地域とのつながりを深めているのが、広島県にある一般社団法人 マル村。広島市中区で「たかマルこども食堂」を運営しています。競輪とオートレースの補助事業先であるこども食堂を、生まれも育ちも広島の競輪選手、松浦悠士選手が訪問しました。

「初めまして!」と笑顔で迎えてくれたのは、マル村の代表理事を務める太田郁恵さん。店内でスタッフのみなさんが開店準備を進める様子を見て、松浦選手は「僕も何かお手伝いできませんか?」と声をかけます。



一般社団法人 マル村の代表理事 太田郁恵さん

太田さん:「ありがとうございます!今からいつも食材を提供してくれるスーパーへ向かうので、一緒に運んでもらっていいですか?」

太田さんにそう言われ、二人は株式会社フレスタが運営するスーパーへ。規格外のものなど、「まだ食べられるけれど店頭販売が難しい食材」をたくさん提供してもらいました。スーパーの店長からは「廃棄ロスが減らせて、地域にも貢献できて非常に良好な関係が築けています」というお話を聞くこともできました。



提供された食材を運ぶ松浦選手と太田さん

被災地で実感した食事の大切さ

松浦選手:「あんなに食材を提供してもらえなんて驚きですね!運営を手伝ってくれるボランティアの方も多いことですし、こども食堂が地域に愛されていることが伝わってきました。でも、太田さんはそもそも何故こども食堂をやろうと思ったんですか?」

太田さん:「きっかけは2018年に発生した西日本豪雨です。当時、私が住む地域も大きな被害を受けました。不自由な生活が長引くほど周囲では言い争いが増え、私の娘も麻疹などの不調を訴えるようになりました。被災した子どもたちのために何かできることはないだろうかとマル村のみんなに相談したところ、「ボランティア活動としてこども食堂をやろう!」となったんです」

大人も子どももストレスを感じていた被災地での暮らし。しかし、こども食堂を通じて温かい食事をできるようにと、人々の空気がみるみる変わっていったと、太田さんは当時を振り返ります。

太田さん:「こども食堂のボランティアを通じて、栄養のあるものを食べることや、みんなで食事することの大切さを改めて実感しました。その後はしばらく



来店された親子とお話をする松浦選手

出張こども食堂を続け、2022年に鷹野橋で店舗としての営業を開始したんです」

二人の会話が盛り上がる中、外はすっかり夕暮れ時に。こども食堂がオープンすると、店内はすぐに親子連れでいっぱいになりました。松浦選手は一人ひとりにこども食堂の印象を聞いて回ります。「他人を気にせず、子連れでご飯が食べられるので助かります」「ご飯がすごくおいしくて、何度か利用させてもらっています」「近くまで来たので、ついでに寄ろうと思って!」など、地域に馴染んでいることがとてもよく伝わる声が返ってきました。

選手の勇姿が、誰かの活力に

松浦選手:「今日はすごくいい時間を過ごせました。日々、僕の家族を連れて来たいです!」

太田さん:「わあ、嬉しい!松浦選手のような広島出身のアスリートがお店に来てくれるだけで、きっと子どもたちは笑顔になるでしょうね。松浦選手の勇姿を見て日々の食事に気をつけてみようと思ったり、将来の



夢を目指す勇気をもたらしたりする子が大好きだと思います。ぜひ、子どもたちと一緒にレースの応援にも行きたいです!」

そう言って松浦選手にエールを送る太田さん。レースを走ることでも生まれた売上の一部が、どんな風に社会に貢献しているのか、松浦選手自身がそれを知る貴重な機会となったようです。



大人300円、子ども100円で提供されているこども食堂のメニュー



こちらに動画も掲載されているのでご覧ください😊

お知らせ

National Institution For Youth Education
NIFYE 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう



子どもの自主性を育む
マール

キッズアカデミー

受講者 募集中!

さまざまなプログラムを通じて成長

様々な分野の講師陣から幅広い学びの機会を持ち、異年齢の交流やディスカッションを通して思考力・社会性・経営力・調整能力を向上させることで、こどもの自主性・生きる力を育む創造の場を提供します。

募集対象年齢：小・中・高校生（定員20名）
野菜収穫体験は5・6歳参加可（保護者1名同伴）

プログラム内容

- 4月20日(土) 10:30-12:00: SDGsについて学ぶ (講師: 清田菜美)
- 6月 1日(土) 8:00-15:30: 農業体験 さつまいもを植えよう (安芸高田町 講師: 光永直義)
- 6月 15日(土) 10:30-12:00: スマホを持つ前に…ネットリテラシー (講師: 岡野研兵)
- 7月20日(土) 10:30-12:00: 難病プロジェクトについて知る (講師: 田川雄一)
- 8月 17日(土) 8:00-15:30: 農業体験 夏野菜収穫 (安芸高田町 講師: 光永直義)
- 9月20日(金) 17:00-18:30: 防災Cafe…普段から出来る災害への備え (講師: 太田郁恵 防災士)
- 10月 19日(土) 10:30-12:00: 会社経営って何かるの? (講師: 橋本真知子)
- 11月 16日(土) 8:00-15:30: 収穫体験 さつまいも他 (安芸高田町 講師: 光永直義)
- 12月 21日(土) 10:30-12:00: ことも利する政治の話 (講師: 山下正寛 広島市議会議員)
- 1月 18日(土) 10:00-15:30: ことも食堂を運営してみよう (講師: 大江かおり)
- 2月 15日(土) 10:30-12:00: お医者さんのお話 (講師: 中沖泰三 なぎさ歯科)
- 3月 15日(土) 10:30-12:00: ファインアンシャルプランナー (講師: 中島正善 FP)

- ※講座受講料 無料
- ※農業体験・収穫体験は参加費2000円が別途必要
- ※活動中の写真・映像は広報で使用する場合があります

一般社団法人マール村

2018年7月に発生した西日本豪雨災害。被災地でのこども食堂および子ども塾を開設したことをきっかけに活動を開始。資料が不足し栄養も偏る中、体調不良や増量が増える中、遺伝子栄養を知る当グループが中心となり食事を提供する中で個性や性格まで変わる子どもも出、食育の大切さを知りました。
2022年8月に平日毎日開いているこども食堂をスタート、活動を継続中です。

一般社団法人
マール村



開催会場
広島市中区大手町5-8-1
竹内ビル1F・2F

お申込み/お問い合わせ
070-6693-3581
www.tamawari-cafe.com



キッズアカデミー 講師紹介



株式会社モイステイア広島販売 代表取締役 橋本真知子 著と健康クラブ「マニッシュ」スクール 代表
バイオニアクラブ・オブジャパン 代表 (一社) 日本ヨガ療法学会認定 ヨーガ療法士
(一社) 日本統合医療学会 認定 ヨーガ療法士 L.C.I.C.I. JAPAN認定講師インストラクター

2008年に創業、5年後18年後の自分から感謝される未来ケアを広めたいと活動する傍ら地域に根ざし、活躍する女性を
輩出、ジェンダー平等と地域活性化へ貢献する活動中。



Relic Line代表 濱田奈美 3児の母 元精神科勤務 作業療法士

HPで感受性が強く、自律神経も乱しやすかったため、18代は様々な病気を経験。
西洋・東洋の統計学や心理学を学び、悩めるカウンセリングを生み出し、願望成就したい方から、生き辛さを抱えた
方までサポートしている。現在は、個性という光を閃かすことで、個々の才能を存分に発揮できる社会を作るという
ミッションの途、誰もが取りのまの自分で生きていけるような社会へ貢献したいと思い、こども食堂を立ち上げ
運営しながら、福祉や教育へ携わりたいという活動中。



メディアカウンセラー 岡野研兵

メディアカウンセラーとして、広島県内の幼稚園、小・中・高校、大学、専門学校などで、スマホやタブレット、
SNS、ゲームなどの付随する講座を行なっている。また社会教育士としても、教育研究や保護者向けのお
話会、高校生とともにキャリア教育やメディアリテラシー教育の一環としてラジオ番組制作も行っている。



なぎさ歯科クリニック院長 中沖 泰三

- 1916年3月 大阪大学歯学部卒業
- 1916年4月 広島大学歯学部第二診療科卒業
- 2000年 恩智病院歯科院長
- 2004年 開業医勤務
- 2007年5月 なぎさ歯科クリニック開業



広島国際大学健康科学部医療福祉学科 特任助教 田川雄一 (難病プロジェクト)

【専門】保健医療・医療ソーシャルワーカー
【活動】てんかん治療医療連携協議会委員 国家公務員共済組合連合会 共済病院 医療倫理審査委員 難病プロ
ジェクトMeika 中国NIG研究会など
【資格】社会福祉士 緩和ケアチーム指導者 がん化学療法医療チーム育成にかかわる指導者



広島市議会議員 山下正寛

信頼を得るには時間がかかるが、笑うのは一瞬
感謝の気持ちで忘れず、常に人様のために行動するように心がけて行動しなさい
祖父や高祖からの教えを基に、政治家として活動しています。政治家が普段何をしているのか。どんな役割を果
しているのか。興味をもってもらえたらと思っています。



株式会社ゼルド・パリュム ファインアンシャルプランナー 中島正善

時代の変化に伴い考え方やあり方が変化している時分。これからの長生き時代を安心して過ごすライフプラン一
緒に考え、楽しく、明るく、喜べる未来を構築するのがファインアンシャルプランナーという仕事だと考えられています。



有限会社種農甲立ファーム 代表 光永直義

採れたての野菜の美味しさ、野菜の育て方など、安芸高田市の甲立ファームで皆様と一緒に楽しみながらお伝えできたらと思っ
ています。



一般社団法人マール村 理事 (フローレグループ代表) 大江かおり

被災地のこども食堂で遺伝子栄養学に基づいた食事を提供、患った顔色や見た目だけでなく性格まで変わるくらいの子
どもも出てきたことから、食育の大切さを痛感。2022年4月に平日毎日開いているこども食堂を立ち上げ、食生活に開
放しました。なぜこども食堂が必要なのか、こども食堂のしくみについてわかりやすくお伝えします。



一般社団法人マール村 代表理事 太田郁恵 防災士 遺伝子栄養学ゴールドマスターインストラクター

2018年7月に発生した西日本豪雨災害被災地にこども食堂3軒を開設し運営しました。
2019年防災士の資格を取得。普段から出来る災害への備え、災害時の調理方法などをお伝えします。

第1回目の風景



年間を通して子どもの自主性を育む取り組みとしてキッズアカデミーというものを開講することとなりました。
対象年齢を小・中・高校生とし様々な分野の講師さんたちをお招きし、お話を聞かせていただきます。
1回ごとの参加も可能ですので、ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております♪